

ニュースレター No.89

会長挨拶

一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

朝晩はやっと少し涼しくなってきましたが、10月というのに、まだ暑さが残ります。会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

約2千年前に書かれた中国の【黄帝内経】には、秋は容平（ようへい）と呼び、万物が成熟し形が安定する時期と書かれています。秋は、外に向かって放出されたエネルギーを内向きにして冬に蓄える季節です。精神を落ち着かせ夏の疲れをとり、秋の気が身体を損なうことのないよう、心穏やかに過ごしてください。



さて、令和8年度予算概算要求が出されていますので、ぜひお目通しください。

こども家庭庁成育局から出された主なものをみますと

- ① 乳幼児健診等の推進【新規】
- ② プレコンセプションケア推進5か年計画に基づくプレコンセプションケアの推進【拡充】
- ③ 卵子凍結による妊孕性温存等に係る課題検証のためのモデル事業【新規】
- ④ 母子保健のデジタル化等の推進【新規】
- ⑤ 妊婦等に対する遠方の分娩取扱施設等への交通費等支援事業【拡大】
- ⑥ 妊婦健診の公費負担額の自治体間格差等の是正推進【新規】
- ⑦ 妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業【拡充】
- ⑧ 不妊症・不育症や死産・流産等を経験された方への支援等
- ⑨ 妊娠・出産包括支援事業、産後ケア事業
- ⑩ 産婦健康診査事業

等です。

プレコンセプションケア事業は、5か年計画に基づき相談体制の整備や、10代、20代の若者への実効性のある普及開発の取り組み、専門家による相談支援体制の整備等で、予算拡充となっています。一方、産後ケア事業は、事業のユニバーサル化を目指し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援の提供と掲げられていますが、残念ながら予算の拡充はありません。

福岡県助産師会の事業である福岡県プレコンセプションケアセンターと子育て支援電話相談は2年目を迎え、ますます内容が充実してきました。さらに、今年10月6日には九州の自治体として初となる「パパのための子育て相談ダイヤル」が開設され、男性心理士が対応します。

産後ケア事業は今、集合契約に向けて、市町村と委託料等の交渉を行っています。

多くの事業を手掛けるようになった福岡県助産師会、今後もあらゆる世代の人々の健康に貢献すべく、皆で力を合わせて発展させていきましょう。

委員会活動

災害対策委員会 神崎秀子

去る7月12日（土）、福岡県助産師会館にて、緊迫した雰囲気の中で防災訓練が実施されました。今回の想定は「台所からの火災発生」。「火事だ!」という第一発見者の声が響き渡ると同時に、リーダーから「119番通報!」「避難誘導開始!」と冷静かつ力強い指示が飛びます。参加者は日頃の訓練通り、煙を避ける姿勢で避難経路を確保し、人命を最優先に迅速な避難誘導を行いました。参加者16名全員の無事を確認した後は、消火器の取り扱い訓練も実施。通報から避難、そして初期消火まで、一連の流れを体験することで、災害時の冷静な判断力と行動がいかに重要であるかを、改めて肌で感じることができました。

地震、火災、そして近年多発する台風や豪雨。災害は、いつどこで起こるか分かりません。私たち助産師は、お母さんや子ども、そしてそのご家族の命と安心を守る専門職です。だからこそ、万が一の事態に備え、具体的な場面を想定した訓練と知識の習得が不可欠であると痛感しています。

この学びをさらに深めるため、来たる2月1日（土）に特別な研修会を企画いたしました。東日本大震災で実際に被災され、看護職として支援の最前線に立たれた先生をお招きし、現場のリアルな声をお届けします。「災害時に本当に必要とされる支援とは何か」「私たちにできることは何か」を共に考える、大変貴重な機会です。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。



福岡まち育ミライ 2025 に出展しました！

組織強化委員会 浦部きくえ

9月13日、14日の2日間にわたり、福岡市役所横ふれあい広場にて【ふくおかまち育ミライ 2025】が開催され、ブース出店し参加いたしました。2万人の来場者が予想される中、空模様を案じて当日を迎えました。2日目開始1時間後には天気予報に反して暑い日差しとなり、続々と親子連れなど来場者が増えました。プレコンセプションケアセンター、産後ケア事業、国際助産師の日イベント講演会のチラシを助産師会のクリアファイルにセットしたものを来場者に渡ししながら、助産師会ブースで妊婦ジャケット着用や赤ちゃん人形抱っこ体験ができることを案内しました。

また、産後ケアに興味をお持ちの妊婦への助産師会受託産後ケアについてご案内することもできました。助産師会のブースにお越しくださった親子連れや出産予定が10月のご夫妻は、重さや表情がリアルな胎児モデルや赤ちゃん人形に嬉しさと驚きの声を上げ、目を輝かせて抱っこ体験をされました。女の子が妊婦ジャケットを着用し、はにかみながら『お母さん、こんなに重たいの?』と感想を聞かせてくれました。

幅広い年齢層の方に、福岡県助産師会と助産師の活動を知っていただく機会になりました。



安全対策委員会 松浦栄梨子

安全対策委員会では、8月1日に「第1回安全対策研修会」を開催いたしました。

「産後ケアにおける乳幼児の安全対策」をテーマに、産業医科大学病院の菅秀太郎先生を講師にお招きし、ハイブリッド開催で総勢51名の会員にご参加いただきました。

講義では、乳幼児の身体生理機能をもとに最新のデータも踏まえながらわかりやすくご説明頂きました。添い寝やうつぶせ寝、スワドルの安全性等、実際に産後ケアで相談を受けるような内容も多く、乳幼児のケアにあたっての注意点や保護者への説明について大変役立つ内容であった、との感想を多く頂きました。また、質疑応答の時間では会員の経験に基づいた質問や意見も頂き、より一層学びを深めることができました。

第2回研修会は、来年2月7日に「産後ケアにおける医療機関、地域との連携の実際」をテーマに事例検討も予定しております。また、昨年度に続き日本助産師会安全対策小委員会作成の「助産師業務安全管理評価表」の活用を図り、今後も助産師がケアを提供する際の安全対策・管理について各自振り返りながら会員相互に高め合えるよう努めてまいります。



三部会報告

勤務助産師部会長 村田 修子

【 第1回勤務助産師部会研修会・交流会報告 】

去る9月27日、勤務助産師部会研修会を“勤務助産師のこれからを語ろう”と題し、福岡県助産師会会長、佐藤香代先生をお迎えし、開催いたしました。

少子化に伴い、分娩数は減ってきています、帝王切開や無痛分娩、社会的ハイリスクも増える中、私たち助産師はどこへ向かうのか？何を心の柱として向き合えばいいのか？後輩へどのように伝えて行くべきなのか？を考え、明日への活力・希望となる研修会でした。

他部会の方々の参加もあり、Zoomと対面のハイブリット併せて21名の参加でした。12月よりオンデマンド開催予定です。多くの方へ届けたいメッセージ、ぜひご視聴ください。



助産所部会長 田嶋 昌枝

今回は助産所部会活動の一部をご紹介します。

助産所部会では、年 4 回部会及び交流会・研修会を行っています。

今年は 9 月 20 日に 2025 年度第 2 回助産所部会を福岡県助産師会館で開催いたしました。内容は助産所安全管理評価の他者評価の実施でした。その結果助産所の管理者として就労者の定期健康診査の不備、災害時等を想定した BCP（事業継続計画）の不備など改善点が明確になりました。その後会員の交流会やインシデント報告を実施しました。インシデント報告は産後ケア実施施設から 2 事例、分娩取り扱い施設から 1 事例を発表、活発な意見交換・情報共有ができました。産後ケアの拡大に伴い些細なインシデントの積み重ねが重大事象のアクシデントになる可能性もあり、インシデント報告を共有したことで再発防止策等を検討でき大変有意義な研修会になりました。

助産所部会では助産所の見学会、助産業務における技術的な研修会など部会員の希望に沿って開催しております。助産所開業予定の方は（興味のある方も）助産所部会の研修会に是非ご参加ください。

保健指導部会長 松浦榮梨子

保健指導部会では、8 月 31 日に「産後ケア事業説明会・交流会」を開催し、説明会には 65 名、交流会には 46 名の参加がありました。妊娠・出産包括支援委員会の豊田晴子委員長より改めて「産後ケア事業の現状と手続き」についてご説明頂き、情報共有や意見交換も行いました。次回は、12 月 6 日に「開業にあたり知っておきたい税務の話」をテーマに税理士の先生をお招きし研修会・交流会を開催予定です。

主に保健指導等を担う開業助産師は年々増加しており、保健指導部会の会員数は 150 名となりました。今後も引き続き、顔の見える関係づくりを意識し部会員同士交流を図りながら、地域における母子保健活動に寄与できるよう努めてまいります。



産後ケア事業の現況

妊娠・出産包括支援委員長 豊田晴子

現在、自治体が提示している産後ケア事業の委託単価について、現場からは「この価格では母子を安全に受け入れられない」という声が上がっています。

産後ケアは単なる宿泊や通所の支援ではなく、助産師による専門的な観察・支援・ケアを通して、母子の生命と健康を守る医療的・福祉的サービスです。

しかし現行の価格設定では、人件費・食材料費・光熱費などの高騰により、必要な人員配置を維持することが難しくなっています。

私たち妊娠・出産包括支援委員会は、「対価に見合わない」と指摘する前に、まず母子を安心して預かれる安全水準の価格になっているかを、自治体として再点検していただきたいと考えています。

安心・安全な産後ケアを継続して提供していくために、現場の実情を反映した適正な価格設定を、自治体と共に検討していくことを強く願っています。



福岡市マタニティスクール報告

マタニティスクール運営担当 塩山知世

10月から福岡市マタニティスクールの担当になりました、塩山知世です。

福岡県助産師会がこの事業の委託を受けてから、はや、10年以上が過ぎました。この間、コロナ禍をはじめ、妊産婦さんとその家族を取り巻く環境がとても速いスピードで変化しているように感じます。

最近では男性の育児休暇取得も進んでおり、産後里帰りしない方も増えている印象を受けます。様々な変化をとらえ、参加者のニーズに対応しつつ、助産師会だからできるスクールを考えていきたいと思っています。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



電話（SOS）相談事業

SOS 電話相談事業担当 福澤雪子

福岡県と福岡県市町村振興協会による補助金事業としてスタートした SOS 電話相談事業も、開設から 1 年半を過ぎようとしています。

妊娠・子育て・思春期の悩み事について「相談料無料・匿名」で電話とメールで相談をお聴きしています（092-406-5118）。助産師会会員の 6 名が相談員として活躍しています。求人情報は概ね 11 月頃に助産師会理事会を通して公表し、地区理事にお願いして会員の皆様に周知をさせていただいております。関心のある方はお問い合わせください。

パパのための子育て相談ダイヤルの報告

パパのための子育て電話相談事業担当 福澤雪子

10 月 6 日、福岡県委託事業「パパのための子育て相談ダイヤル（092-406-5118）」がスタートしました。開設は毎週月曜日 18 時から 21 時（祝日含む）です。

パパ専用に関設した相談ダイヤルは、男性心理士が〔育児・育児と仕事の両立・夫婦関係・発達相談〕など、パパの悩みをお聴きします。初日から早速 3 件の相談があり幸先の良いスタートとなりました。QR コードからご覧ください。（SOS 電話相談と共通です）

SNS 電話相談ホームページ



助産師が伝える包括的性教育・いのちの教育 連続研修 第 5 回目まで終了しました

包括的性教育委員会委員長 道園亜希

5 月にスタートした本研修は、無事第 5 回目までを終えました。

前半は、助産哲学に加え包括的性教育のコアとなる概念を深く学び、9 月からは各ライフステージにおける包括的性教育の概要及び実践に関する学びに入りました。

本研修で最も大切にしていることは、性教育を実践する者としての『態度』『在り方』です。性教育の伝え方や媒体を紹介することは簡単です。しかし、どんなによい方法や媒体があったとしても、実践者自身がその根底にある哲学や真髄が腑に落とせていなかったり、各期の対象者理解ができて

いなければ、相手の心に届く性教育を行うことはできません。だからこそ私達は研修時間を丸 1 日とし、その中で座学だけでなくグループディスカッションの時間を設けています。研修を聞いて終わりではなく、感じたこと、考えたことをアウトプットし、他の参加者の気持ちや考えにも耳を傾ける。そうすることによって、より大きな学びが得られ、気づきの機会となると考えています。これからさらにライフステージごとの学びを深めていきますので、皆さま、楽しみにしてくださいね！

現在、助産師会には中学校での出前講座や幼稚園の教諭向け研修、行政、企業での講演など、たくさんの依頼がきています。認定登録メンバーが一丸となり、福岡県内のさまざまな場所へ、包括的性教育を届けに参ります。



学生への出前講座と養護教諭への研修会

福岡県プレコンセプションケアセンター コーディネーター 高矢裕子

今年度の出前講座は 9 月現在、29 の大学・専門学校からお申込みをいただいています。すでに講座を実施した学校の学生さん方からは、「自分の身体と向き合う・知ることの重要性」「性教育・性知識に関する気づき」「プレコンセプションケア・将来の妊娠への関心」「将来の看護職としての意識と学び」「性とジェンダーへの気づき・価値観の変化」など、さまざまな意見をいただきました。出前講座をきっかけに、生活習慣を見直して心身の不調が好転したとの感想もありました。

また、養護教諭の方々への研修会では基礎編からアドバンス編へと変更し、今年度は「健康とウェルビーイング」の内容をお話ししています。「食」「睡眠」と「性の健康」の関連を、事例を用いながらお話しすることで、「日頃の児童・生徒とのかかわり方の参考にしたい」との前向きなご意見を多くいただきました。

今年度もあと半分になりましたが、「プレコンセプションケア」発信事業としての研修会・出前講座の活動を地道に続けていきます。



地区活動紹介

久留米地区 加藤陽子

7月3日、久留米地区会員をはじめ近隣の助産師・助産学生総勢28名で、日吉神社境内の産霊宮にて「月三日祭」に参列しました。社殿にて神主様のご祈祷を賜り、玉串を捧げ、女性と家族の健康、そして助産の道に携わる私たちの歩みを祈念いたしました。

産霊宮は「生み・育み・結ぶ」めぐみを尊ぶ神さまとして、古くより地域の方々に大切にされてきました。助産の道を歩むものが共に集い、静かに心を寄せ合う時間を持てたことは、命に向き合う姿勢をあらためて見つめ直し、専門職としての責任を再確認する機会となりました。

これからも久留米地区では、地域に根ざした活動を大切に、人々の暮らしと命の歩みに寄り添いながら、助産師としての役割を果たしていきたいと思います。



筑後地区 上田良恵

2026年1月17日、筑後地区では「乳幼児の発達（STの視点から）」をテーマに研修会を開催します。

言語聴覚士（ST）の視点を取り入れながら、赤ちゃんの姿や動きを“ただ見る”のではなく、“その子がどのように育っていく過程にあるのか”を感じ取り、理解することを学びます。

赤ちゃんの表情や姿勢、発声には、からだと心の発達が深く関わっています。その背景を知ることによって、授乳支援や母子への関わりがよりあたたかく、一人ひとりの親子に合った支援がしやすくなります。

母子が安心して過ごせるように寄り添い、支えていくことは、助産師として欠かせない視点であると改めて感じます。研修を通して新しい学びを共有し、会員同士のつながりを大切にしながら、これからも地域の母子を支える力を育んでまいります。

福岡県助産師会筑後地区研修

赤ちゃんの成長と口腔発達 ～STの視点から～

赤ちゃんを「ただ見る」のではなく、発達のプロセスを理解しながら観察する。
STの視点を取り入れることで、授乳や母子支援に役立つ新たな視点が得られます。

日時

2026年 1月17日（土）
13:30～14:30（13:15より受付）

講師

言語聴覚士 江藤安恵先生

会場

えるる
大牟田市新栄町6番地1
（西鉄新栄町駅から徒歩3分）

対象

福岡助産師会会員・非会員

参加費

筑後地区会員・助産学生 無料
他地区の福岡助産師会会員 2,000円
非会員 5,000円



申し込み方法

日本助産師会HPよりお申し込み



私たちは、働く皆様を
「快適な眠り」で支えます。

東洋羽毛について
詳しくはこちらをご覧ください

東洋羽毛
睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を営むお手伝いをさせていただきます。お気軽にどうぞ。

＊オンラインセミナーの開催も承ります。

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代制勤務における睡眠のコツなど
- 学校保健委員会 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- 高齢者の睡眠ケア 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけ知ってほしい生活習慣

＊他、施設内研修などご相談承ります（事前にお打ち合わせをお願いする事も可能です）

●セミナーに申し込みたい、ご参加の申し込み、お問い合わせは下記までお願いいたします。
お申し込みとご参加をさせていただきます。
https://www.toyonagacorp.co.jp/seminar/

東洋羽毛九州販売株式会社 福岡営業所
〒812-0062 福岡県福岡市東区松島1-15-28 ☎0120-104-557

mamo-hada だけの
「0ゼロ添加」低刺激処方
肌への優しさを追求し続けることが 私たちの最大のテーマです。

敏感肌
スキンケア
シリーズ

まも肌、べびー泡ソープ 400mL / 199円（税別） 350mL
（中から選べ）
まも肌、べびーミルキークリーム 120g / 60g
（中から選べ）
まも肌、べびーUVエアークリーム 50g
（中から選べ）
まも肌、トライアルセット
べびー泡ソープ（300mL）×べびーミルキークリーム（13g）

mamo-hada
「0ゼロ添加」
低刺激処方

より安心して
お使い頂くために

まも肌は、外部専門機関で
複数のテストを実施しています。

西 低刺激試験（アレルギーテスト）済み
西 敏感肌対象パッチテスト済み
西 スティンギングテスト済み
西 皮膚科医監修による乳児対象使用テスト済み
西 アトピー素因の方対象パッチテスト済み

※すべての方にアレルギーが起らないということではございません。

日本免疫薬研は、
認定NPO法人アトピー地域のネットワーク
の活動を応援しています

【製造販売元】株式会社日本免疫薬研
【商品に関するお問い合わせ】
株式会社未来 TEL 03-5148-1007

ママと赤ちゃんのコンビニエンス

●● 産科用品の自動販売機 ●●

院内サービスショップとして
24時間いつでも利用していただけます。

GLORY.
光物販売機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで。ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを
回転させながら
商品が
選べます

↓

投入金額以内の
陳列コラムの扉を
1つだけ開けて商品
を取り出せます

外形寸法: (W×D×H)
800×685×1830mm・重量150kg

企画・発売元
SEBE セベ産科用品株式会社
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL (092) 472-4316

産褥社（胎盤処理）

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3丁目
34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士朗

ホームページ会員登録のお願い

会員登録がお済みでない会員におかれましては、登録をお願いいたします！

手順は、【福岡県助産師会 HP】⇒【助産師の方へ】⇒【会員登録について】⇒【会員登録フォーム】に必須事項の入力となります。

これまで日本助産師会事務局から福岡県助産師会会員の皆様への情報提供手段として、地区理事や各部会長を通して伝達しておりましたが、2022年9月より福岡県助産師会ホームページ内【会員ページ】に掲載することになりました。会員ページにログインされますと、観覧制限しているページを見ることができます。

会員募集

一般社団法人 福岡県助産師会では、会員を募集しております！！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記 QR コードより福岡県助産師会ホームページにアクセスし、

【助産師の方へ】⇒【入会案内のページ】にお入りください。

または、下記担当者への連絡をお願いいたします。



【福岡県助産師会 会計 山口美津枝】

住所：〒807-1134

北九州市八幡西区茶屋の原 4 丁目 1-12

電話：090-9607-3331

メールアドレス：3enyanko@gmail.com

おひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております。

【編集後記】

少しずつ秋らしい涼しさを感じられるようになってきました。

今回も各部会、委員会の様々な活動についてご紹介しております。

広報・渉外委員 安河内・新・原武・阿部・伊与田



一般社団法人 福岡県助産師会 ニュースレター 第 89 号 2025 年 11 月

発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41

電話・FAX 092-521-2025 <https://jyosanshi.net>